



亀中だより

No.5

令和5年4月28日 文責 岡田



For The Students!

令和5年度 亀山中学校の学校経営について

新年度が始まり、三週間が過ぎました。新入生も少しずつ中学校生活に慣れてきたようです。まだまだ目新しいことがたくさんあるかもしれませんが、給食とはまた違った昼食や教科の授業、部活動の正式入部など、いよいよ中学校生活が始まったこと実感する頃ではないでしょうか。

さて、今回は亀山中学校における今年の学校教育目標（学校経営ビジョン）をご紹介します。亀山中学校では学校教育目標を「豊かな人間性とたくましい行動力を持つ生徒を育成する」とし、～人とかかわる喜びを持ち、きずなをつくる生徒へ～をサブテーマに令和3年度からの教育活動を行ってきました。今年度もこのテーマの実現に向け、全職員で取り組んでいきます。一学期始業式では、生徒にも第2号で紹介したイマーナさんの作文とともにこの目標を伝え、目標が“絵に描いた餅”になることなく、日常生活の中で「豊かな人間性」「たくましい行動力」を磨いていってほしいことを伝えました。

なお、この目標は、学校運営協議会で4年度末に承認をいただいておりますが、今年度第1回の学校運営協議会でも再確認いただく予定です。次ページに概要版を載せさせていただきました。詳細については後日となりますが、学校ホームページをご覧ください。

亀山市学校教育ビジョン2年目に際して…



昨年3月に改訂された「亀山市学校教育ビジョン」は、令和4年から5年間の亀山市における学校教育にかかわる施策の基本計画となるものであり、上述の亀山中学校教育目標（学校経営ビジョン）もこれを拠りどころとしています。本年度はビジョン改訂2年目を迎えますが、この中には「めざす子どもの姿」として次のように示されています。

可能性に挑み 人とつながり 未来を創る「亀山っ子」

この実現に向けて、これまでの取り組みを大切にしながら、「誰一人取り残さず、誰もが自分らしく生きる」「豊かな地域資源とつながり、共に歩む」という二つを基本姿勢として、本年度も学校教育活動に取り組んでまいります。

中でも「誰一人取り残さず、誰もが自分らしく生きる」については、亀山中学校として今年特に意識しておきたいことと思っています。社会情勢の変容から家庭の経済的な不安も生まれています。また、障がいの有無、国籍等にかかわらず、すべ

ての生徒が亀山中学校での学びを充実させられるものでなければなりません。不登校生徒への支援をはじめとして、一人ひとりの状況に応じた教育を推進していくことが求められていると自覚しています。保護者のみなさまからのご相談もご遠慮なく、お申し付けください。



2023年度 学校経営ビジョン

亀山市立亀山中学校
亀山中学校学校運営協議会



学校教育目標 「豊かな人間性とたくましい行動力を持つ生徒を育成する」
～ 人とかかわる喜びを持ち、きずなをつくる生徒へ ～

「居場所づくり」…生徒一人一人が安心して過ごすことができる「居場所」→ 教師がつくる
「きずなづくり」…主体的・協働的な活動を通して育む「きずな」→ 生徒がつくる

< めざす学校像 >

生徒のきずなと居場所のある学校
生徒の声が大切にされる学校

保護者、地域に信頼され、協働できる学校
教職員が生きがいを持って働ける学校

< めざす生徒像 >

自ら挨拶・掃除・学習をする生徒
「人」「物」「命」を大切にする生徒

向上心を持ち互いに学びあい認めあう生徒
主体的・協働的な活動を通してきずなをつくる生徒

< めざす教師像 >

「授業」と「仲間づくり」を大切にする教師
保護者や地域との連携を進める教師

生徒が安心して過ごせる居場所をつくる教師
同僚性の構築と健康の保持増進に努める教師

◎重点目標

1. 学力の向上を目指した授業改善と主体的に学ぶ生徒の育成
2. 豊かな心を持ち、命を大切にする生徒の育成
3. 生徒の自治的活動の推進と地域、保護者との連携
4. 個々を大切にしたい誰一人取り残さない教育の推進
5. 働き方改革と健康の保持増進・同僚性の向上

「誰一人見捨てない学校」を目指すという決意を礎に「魅力ある学校づくり」に取り組んできた。
「誰一人見捨てない学校」となるため、「居場所づくり」「絆づくり」を土台に、すべての生徒の進路を保障し、一人ひとりの可能性を広げる「確かな学力」の向上に取り組む。

令和4年3月策定の亀山市学校教育ビジョンを根幹とし、「可能性に挑み、人とつながり、未来を創る亀山っ子」の実現に取り組む。「亀山っ子一人ひとりの可能性を引き出そう!～「チーム亀山」でふるさとから世界へ～」のテーマのもと、「未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現」「地域とともにある学校づくり」を実践する。